



悲しみと喪失感

オーストラリア悲嘆・死別センター

COVID-19の影響で、多くの人が悲しみや喪失感を体験しています。

悲しみや喪失感にさいなまれるときは助けを求めましょう。様々なサポートサービスがあります。**1800 222 200**で電話カウンセリングを受けられます。また、**www.aged.grief.org.au** のウェブサイトでは、資料が入手できるほか、喪失感を専門とするカウンセラーを見つけることもできます。また、支援する立場の人にも役立つ「**MyGrief**」アプリをダウンロードすることもできます。

これらのサービスは全て無料で利用でき、情報の秘密は守られます。また、利用者の文化、宗教、個性、ライフスタイルを尊重します。

悲しみと喪失感

1800 222 200
www.aged.grief.org.au

認知症行動支援

1800 699 799
www.dementia.com.au

トラウマに関する支援

www.phoenixaustralia.org/aged-care

アドバイスとアドボカシー

1800 700 600
www.opan.com.au

通訳と手話通訳

翻訳通訳サービス (TIS) を利用する場合は、131 450に電話して、日本語通訳を依頼してください。手話通訳 (Auslan Connections) は、電話1300 010 877、Eメール interpreter.bookings@deafservices.org.au、ファックス 07 3892 8511、もしくはSMS 0407 647 591 までご連絡ください。

悲しみやトラウマに関する支援プログラム (Grief and Trauma Support Program) は、既存のメンタルヘルスサービスを補完するものです。

緊急の場合には、ライフライン

(Lifeline: www.lifeline.org.au) やビヨンドブルー (Beyond Blue: www.beyondblue.org.au) のサポートが受けられます。もしくはヘッド・トゥー・ヘルス (Head to Health: www.headtohealth.gov.au) を参照するか、一般医 (GP) に相談してください。



Australian Government

高齢者と COVID-19

高齢者施設入居者やサービス受給者、その家族、親族、友人、コミュニティ訪問員、代理人、高齢者施設職員等のために、対面、電話、オンラインでの支援を行っています。



COVID-19の影響 を受けている方に

無料支援サ
ービスがありま
す



認知症行動支援

認知症支援オーストラリア (Dementia Support Australia)

COVID-19対策の影響で、認知症を持つ高齢者介護施設入居者の行動が変化することがあります。

専門コンサルタント、臨床支援、対策や戦略、アドバイスや情報などのサービスを、全国どこからでも24時間いつでも受けることができます。

電話**1800 699 799** もしくは
www.dementia.com.au をご覧ください。



アドバイスとアドボカシー

高齢者アドボカシーネットワーク (Older Persons Advocacy Network, OPAN)

OPANは、政府からも業界からも独立した機関です。高齢者介護に関する権利擁護、COVID-19関連のアドバイスや紹介サービスを秘密厳守・無料で提供しています。

電話**1800 700 600** もしくは
www.opan.com.au をご覧ください。



トラウマに関する支援

フェニックス・オーストラリア (Phoenix Australia)

COVID-19の影響で新旧のトラウマ (心的外傷) が顕在化することがあります。ひどくなるとメンタルヘルスの問題となり対処が必要になることもあります。

Phoenix Australiaは、トラウマに悩む人やその人の世話をする人に情報や資料を提供し、支援します。高齢者や家族・介護者向けに作成したトラウマや悲しみに関する資料もあります。高齢者施設職員・管理者向けのファクトシートやウェビナー、研修も提供しています。

支援が必要な場合はこちらをご覧ください。
www.phoenixaustralia.org/aged-care

